

公の施設のあり方検討結果個表

施設の名称	観音山ファミリーパーク		
所在地	高崎市寺尾町1064-30		
所管部局・課	県土整備部都市計画課	現在の運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者
担当係	公園緑地係	内線	3663

1 施設の設置根拠(法律、条例等)

都市公園法、群馬県立公園条例

2 施設の役割

<p>(1) 設置目的 都市住民が家族で自然にふれあい、また広域的な余暇活動へのニーズに対応するため、「豊かな自然の息づく夢とやすらぎのある森の公園」をテーマに、県民参加型の公園として設置している。</p> <p>(2) 設置当初の状況 「県民参加型公園づくり」の実践の場として、公園建設時から地域住民との協働により整備計画を作成。開園後もNPO法人に一部管理を委託し、平成18年度からは同NPO法人が指定管理者となり管理を行っている。</p> <p>(3) 施設を取り巻く現状 市街地から距離がありアクセス面で恵まれていないが、指定管理者の自主事業による公園の広報活動等により県外からの来園者が多くなっている。</p>
--

3 施設の概要

設置年月日	平成15年5月(一部供用開始)、平成18年4月(全面共用開始)
敷地面積(所有者)	60.3ha
主な施設(床面積、階数等)	サービスセンター(676.5m ²)、クラフト工房(399.4m ²)
建設費	約9,480,000千円
備考	

◇入園料・利用料等 (円)

◇利用時間(休館日)

区分	金額	
一般	無料	・夏期(4～9月) 午前8時00分～午後5時30分 ・冬期(10月～3月) 午前8時00分～午後5時00分 ※ただし、12月29日～翌年1月3日までの間は休園
大学生・高校生		

4 施設における実施事業

<ul style="list-style-type: none"> ・県民参加フェスタ ・キッズハッピーフェスティバル ・夏休み自由学校 ・花さかキッズ事業 ・冬の公園を楽しもう(凧あげ、餅つき、落ち葉遊び等) 等

5 管理運営コストの状況

(千円)

区 分	令和元年度 (当初計画額)	平成30年度 (決算額)	平成29年度 (決算額)	平成28年度 (決算額)	平成27年度 (決算額)
歳入(①)	1,200	1,984	946	946	905
使用料	1,200	1,984	946	946	905
歳出(②)	81,049	85,179	69,004	67,563	76,388
指定管理料	66,049	65,443	59,300	59,350	59,400
修繕費	15,000	19,736	9,704	8,213	16,988
歳入・歳出の差額(①-②)	▲ 79,849	▲ 83,195	▲ 68,058	▲ 66,617	▲ 75,483
歳入・歳出の主な増減理由	H27年度は芝生広場のイノシシ被害があったため、修繕費がかかった。 H30は噴水の修繕により修繕費が増加になった また、施設の老朽化に伴い修繕費が増加傾向である。				

※ 施設の管理運営に係る県の歳入・歳出

◇指定管理者の収支状況(指定管理業務に係る部分のみ)

(千円)

区 分	令和元年度 (当初計画額)	平成30年度 (決算額)	平成29年度 (決算額)	平成28年度 (決算額)	平成27年度 (決算額)
収入(①)	73,239	74,106	70,669	74,295	72,928
指定管理費	66,049	65,443	59,300	59,350	59,400
利用料金	800	1,478	931	1,154	920
雑収入	450	844	2,309	4,355	4,473
自主事業収入	5,940	6,341	8,129	9,436	8,135
支出(②)	73,239	72,855	70,667	75,841	72,782
人件費	38,960	36,210	35,810	35,672	34,849
維持管理費	17,798	17,944	13,688	15,819	14,948
事務費	1,677	4,175	2,609	2,309	6,451
修繕費	3,200	4,021	6,497	7,124	2,387
その他(租税等)	5,664	5,415	3,934	5,481	6,157
自主事業費	5,940	5,090	8,129	9,436	7,990
収支(①-②)	0	1,251	2	▲ 1,546	146
歳入・歳出の差額、収支の主な増減理由	H30年度は、外部団体による音楽コンサート実施に伴い、行為許可使用料が多く入った。				

※ 指定管理者の指定管理業務に係る収支

6 職員の状況(各年度4月1日現在)

(人)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
常勤職員	0	0	0	0	0
非常勤職員	32	32	32	32	32
合 計	32	32	32	32	32

7 施設利用の状況

区 分	令和元年度※	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
年間利用者総数(人)	385,000	373,070	382,400	387,027	374,210
有料利用者数(人)	—	—	—	—	—
	無料利用者数(人)	385,000	373,070	382,400	387,027
目標利用者数(人)	385,000	380,000	380,000	380,000	380,000
施設稼働率(%)	—	—	—	—	—
稼働率対象施設(設備)	—				
利用者の主な増減理由	H30年度は、夏の猛暑により、利用者が減少した。				

※ 見込数又は途中実績

8 必要性及び管理運営方法についての方向性

区 分	内 容
施設の必要性	<p>県立都市公園は一つの市町村を越えた地方生活圏域等の広域的な利用者を対象として、総合的に判断し配置するとともに、広域的な集客が図れる施設を設置する。具体的には、県内最高規格の運動施設を有する運動公園、家族がふれあえる最大級の多目的広場や遊具を有する公園、県を代表する芸術や歴史、自然を楽しむための公園を県が設置・管理している。</p> <p>観音山ファミリーパークは、家族と自然がふれあうことを目的として整備された公園であり、最大級の多目的広場を有し、県民参加型で広く県民の利用が図られているため、県が施設を有する必要がある。</p>
業務等の見直し	<p>・管理・運営をより効果的に行うためには、指定期間を現在の3年から5年に延長することについて検討する必要がある。</p>